

【出題形式・方針】

全問題をマーク式で出題している。設問形式は、空所補充・計算・正誤判定・実験考察などを組み合わせ、形式のバランスを意識した構成としている。

出題範囲は「生物基礎」および「生物」の全体を対象とし、特定の分野に偏らず、幅広い領域から知識を問うようにしている。生物基礎では「遺伝情報」「体内環境」「生態」、生物では「細胞」「代謝」「動物の反応」「植物の反応」「進化」などの分野を中心に上げており、基礎知識の定着だけでなく、データの読み取りや実験結果の考察を通じて、思考力・判断力を測る出題を重視している。